

第2章

世界のハネムーン人気目的地の動向—モルディブの事例—

山田 耕生

1. はじめに

本項の目的は世界のハネムーン目的地の特徴を明らかにしながら、人気ハネムーン目的地になりうる要素を考察することである。研究の手順としてはまず、海外の結婚情報サイト、トレンド情報サイトで取り上げられている世界の人気ハネムーン旅行先を分析し、特徴を考察する。分析の資料としたのはアメリカ合衆国に所在する情報サイト「US News&World Report (2018年)」(表1)とイギリスの情報サイト「BRIDES (2022年)」(表2)である。さらにモルディブを事例としてハネムーン旅行先の現状を明らかにしながら、日本への応用可能性をについて考察を試みる。

2. 世界の人気ハネムーン目的地

2-1. 人気ハネムーン先の地域的特徴

表1はアメリカ合衆国の情報誌が取りまとめた人気ハネムーン先上位20地域のリストに筆者がその地域の構成要素、キーワードを加えたものである。地域的傾向をみると、1位のトスカーナ州、9位フィレンツェ、10位アマルフィ海岸、13位ローマ、14位サントリーニ島、16位チンクエッレとイタリアが6地域ラインクインしている。さらに8位パリ、17位ロワール渓谷、18位ケルキラ島、20位ニースを含めると半数がヨーロッパを占めている。さらに島しょは11地域ランクインしているが、太平洋が5地域、カリブ海2地域、地中海2地域である。

表1 US News&World Report (2018年) による人気ハネムーン先と構成要素

	目的地	国・地域	キーワード
1位	トスカーナ州	イタリア内陸部	農村景観、食、ワイン
2位	タヒチ島	ポリネシア	島、海、ビーチ
3位	ボラボラ島	ポリネシア	島、海、ビーチ
4位	セントルシア	西インド諸島	島、海、ビーチ

	目的地	国・地域	キーワード
5位	フィジー	メラネシア	島、海、ビーチ
6位	ナババレ	米国カリフォルニア州	農村景観、ワイン
7位	モルディブ	インド洋	島、海、ビーチ
8位	パリ	フランス	都市、文化、食
9位	フィレンツェ	イタリア内陸部	都市、文化、食
10位	アマルフィ海岸	イタリア海岸部	海、海岸、保養地
11位	バリ島	インドネシア	島、海、文化
12位	カウアイ島	米国ハワイ州	島、海、自然
13位	ローマ	イタリア	都市、文化、食
14位	サントリーニ島	イタリア地中海	島、海、海岸、保養地
15位	マウイ島	米国ハワイ州	島、海、自然
16位	チンクエツレ	イタリア海岸部	海、海岸、保養地
17位	ロワール渓谷	フランス内陸部	歴史（古城）、農村景観
18位	ケルキラ島（ゴルフ島）	ギリシャ地中海	島、海、海岸、保養地
19位	米領ヴァージン諸島	西インド諸島	島、海、ビーチ
20位	ニース	フランス海岸部	島、海、海岸、保養地

さらに表2は2022年にイギリスの結婚情報サイト「BRIDES」に掲載された人気ハネムーン先上位20地域である。こちらも地域的傾向については、2位アンティグア・バーブーダ、3位オースティン、5位バハ・カリフォルニア、8位英領ヴァージン諸島、9位ブエノスアイレス、11位カルタヘナ、12位コロラド、14位コスタリカ、17位ドミニカ、19位ガラパゴス諸島、20位グレナダと南北アメリカ大陸が11地域ランクインしている。一方でヨーロッパは4地域にとどまり、表1と対照的である。

両方にランクインしているのはアマルフィ海岸、バリ島、フィジーの3地域である。

表2 BRIDES（2022年）による人気ハネムーン先と構成要素

	目的地	国・地域	キーワード
1位	アマルフィ海岸	イタリア海岸部	海、海岸、保養地
2位	アンティグア・バーブーダ	西インド諸島	島、海、ビーチ
3位	オースティン	米国テキサス州	都市、自然、エンタメ
4位	オーストラリア	－	－
5位	バハ・カリフォルニア	メキシコ海岸部	自然、海
6位	バリ島	インドネシア	島、海、文化
7位	ブータン	－	文化、歴史
8位	英領ヴァージン諸島	西インド諸島	島、海、ビーチ
9位	ブエノスアイレス	アルゼンチン	都市、文化
10位	ケープタウン	南アフリカ共和国	都市、自然
11位	カルタヘナ	コロンビア海岸部	都市、歴史、文化
12位	コロラド	米国コロラド州	自然
13位	コペンハーゲン	デンマーク	都市、文化
14位	コスタリカ	－	自然
15位	クアアチア	－	－

訪日外国人旅行者による新婚旅行の特徴と発展可能性に関する考察

	目的地	国・地域	キーワード
16位	キラタデス諸島	ギリシャ地中海	島、海、ビーチ
17位	ドミニカ	西インド諸島	島、海、ビーチ
18位	フィジー	メラネシア	島、海、ビーチ
19位	ガラパゴス諸島	エクアドル島しょ	島、自然
20位	グレナダ	西インド諸島	島、海、文化

2-2. 人気ハネムーン地を構成する要素

それぞれの表にランクインしている地域の構成要素を見るといくつかの特徴がある。まず、温暖な「島」「海」「ビーチ」がハネムーン先としての重要なコンテンツになっている。また、イタリア・トスカーナ州に代表されるように食や文化などの魅力が高い、町並みが美しい都市（古都）がハネムーン先として志向されている。さらに、コロラド州やコスタリカなど、雄大な自然が広がる地域や動植物が魅力の温暖な地域、トスカーナ州やナパバレといったワイン生産が有名な田園（農村）も志向されている。

ハネムーンは温暖な気候のもと、ゆったりとリラックスできる景色が眺められる環境のなかで、おいしい食やアルコールを楽しむことができる地域が志向されるといえる。

3. モルディブの観光の概要

本章では世界的な人気ハネムーン先として知られるモルディブを事例として、ハネムーンの動向と特徴を明らかにする。分析の資料としては、モルディブ具体的には2022年10月モルディブ政府観光局に対して実施したヒアリング調査とモルディブ観光省による統計資料を用いた。

3-1. モルディブの概要

モルディブ共和国はインド南西のインド洋に浮かぶ1,192の小島からなる国である。人口は2022年の国勢調査時点では約51万人である。主要産業は漁業と観光業であり、特に観光（宿泊業と飲食業）は実質GDPの25.8%（2021年）を占めており、主な外貨獲得源となっている。貿易収支をみても、サービス収支における外貨受取額は2000年の3億5,880万ドルから2020年には46億9,500万ドルに増加しており、インバウンドによる観光が年々拡大していることがわかる。

なおモルディブでは1島1リゾート計画が施行されている。全島のうち首都マレがあるマレ島を除く159島がリゾート島となっており、それら島ごとに1資本ずつリゾートホテルが運営されている。

3-2. モルディブのインバウンド旅行の動向

図1はモルディブへの入国者数の推移を示している。これをみると、2015年から2019年にかけて入国者総数は約50万人増加していた。新型コロナウイルス感染症に伴う出入国制限の影響もあり2020年に減少したものの、同年7月15日には制限を解除したこともあり2021年、2022年と再び増加に転じた。現在はコロナ以前の水準となっており、今後とも増加すると予想される。

国別の動向をみると2020年を境に傾向が分かれている。2020年以前では中国からの旅行者が最も多く全体の2割以上を占めていたものの減少傾向にあった。一方でそのほかの国からの旅行者は微増傾向で推移していた。2020年には前述の通りに新型コロナウイルス感染症の影響で全体的に減少したが、2021年に入るとゼロコロナ政策など自国からの出入国を厳しく制限した中国からの旅行者はさらに著しく減少した。一方でインドやロシアからの旅行者は2021年にかけて激増したが、2022年にはその反動からか減少に転じた。イギリス、ドイツ、イタリアといったヨーロッパの国々は2021年から2022年にかけて旅行者数を伸ばした。

図2ではモルディブ旅行の目的である（複数回答）。休息・リラックスが47.6%で最

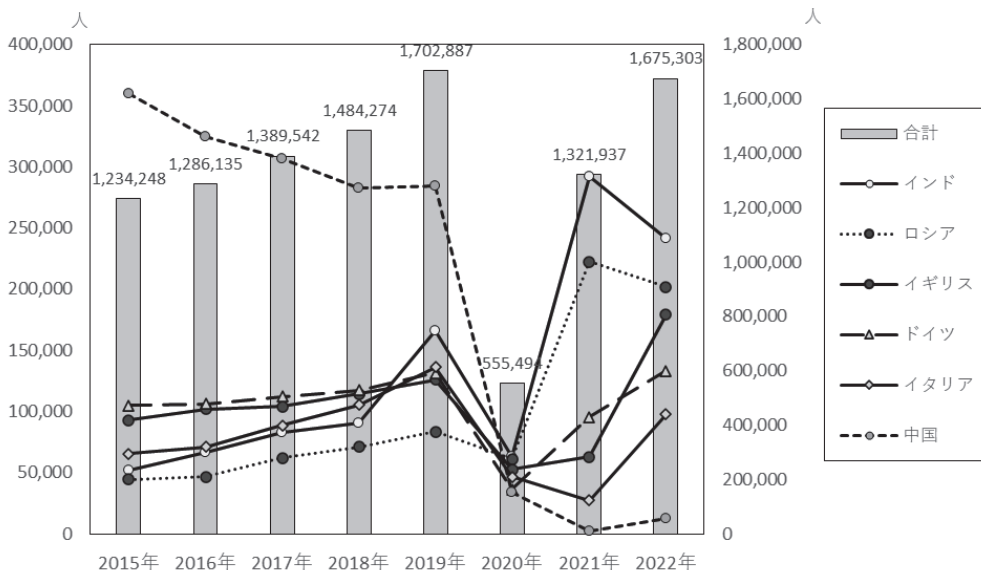


図1 モルディブ入国者数の推移

出典：モルディブ観光省資料による

訪日外国人旅行者による新婚旅行の特徴と発展可能性に関する考察

も多く、新婚旅行（ハネムーン）は37.1%と2番目に多い。次いでシュノーケリング19.1%、ダイビング9.2%、健康とウェルネス8.2%となっている。美しい海に囲まれたリゾート島でのんびり保養し、マリナクティビティを楽しむ旅行スタイルが一般的となっている。結婚式のためにモルディブに來訪する割合は2%である。さらに、ビジネス会議は0.9%であり、観光レジャー目的での來島が圧倒的である。

表3では2022年における旅行者数上位10か国のモルディブ旅行目的である。インドではモルディブ旅行に占める新婚旅行目的が4割以上に上る。また新婚旅行の割合が25-37%を占めるのはサウジアラビア、イギリス、アメリカ合衆国、ポルトガルの4か国である。インドやサウジアラビアといった比較的近接した国からはハネムーン目的でのモルディブ旅行の割合が高い。ヨーロッパやアメリカ合衆国から旅行者もハネムーン先としてモルディブが一定割合は志向されている。

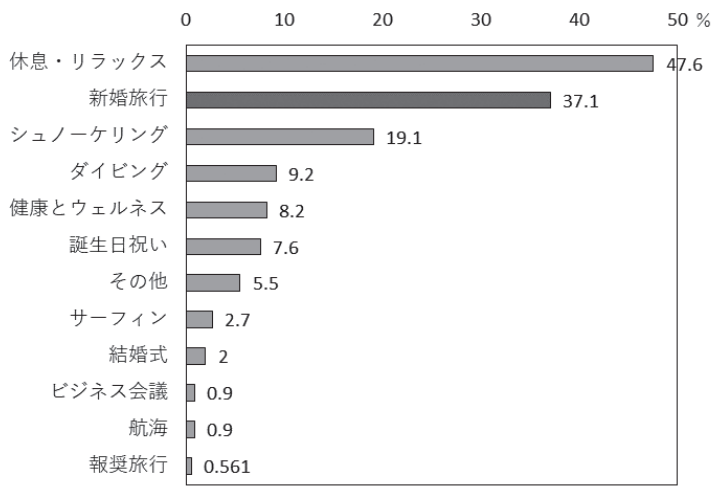


図2 モルディブ旅行の目的 (n=2,309)

出典:モルディブ観光省資料による

3-3. モルディブへのハネムーン旅行の特徴

本項では2022年の旅行者への調査をもとにしたモルディブへのハネムーン旅行の特徴を明らかにする。この調査は2022年2月19日から2022年3月1日にかけてモルディブ

表3 旅行者上位10か国のモルディブ旅行目的

	旅行目的における割合			
	38-50%	25-37%	13-24%	0-12%
インド	A	B		C,D,E,F
フランス	B		A	C,E
サウジアラビア	B	A		C,E,F
ロシア		B	A,C	D,E,F,G
ドイツ		B	A,C	D,E,F,G

イギリス		A,B		C,D,E,F,G
イタリア		B	A,C	D,E,F,G
アメリカ合衆国		A,B	F	C,D,E,G
オーストラリア		B	A	D,F
スペイン		B	A,C,D	E,F,G
ポルトガル		A,B		C,E,F,G

A= 新婚旅行 B= 休息・リラックス C= シュノーケリング D= ダイビング
E= 健康・ウェルネス F= 誕生日祝い G= サーフィン

出典：モルディブ観光省資料による

観光省がヴェラナ国際空港の国際線出発ターミナルで実施されたものである。有効回答数は 1,789 人。国籍は以下 9 か国からが全体の 71% を占める。インド、イギリス、ロシア、ドイツ、フランス、アメリカ、イタリア、オーストリア、サウジアラビア。

調査結果にも基づくハネムーン旅行の特徴は以下のとおりである。

【旅行者の属性】

- ✓ モルディブへの旅行者の中で最も人気のある年齢層は 25 ～ 34 歳。
- ✓ 今回の調査での旅行者の平均滞在期間は 8 泊。
- ✓ 旅行者の 23% はモルディブを再訪問。
- ✓ モルディブはパートナーや家族との旅行に依然として人気の目的地。

【訪問目的】

- ✓ モルディブへの旅行動機は白い砂浜、美しい海、小さな島々、といったモルディブの自然の美しさが大きな要因である。
- ✓ モルディブ旅行の主な理由は、休息とリラクゼーション、新婚旅行、シュノーケリング。

【情報収集・予約】

- ✓ モルディブに関する最も人気のある情報源はインターネット。口コミも重要な情報源。
- ✓ モルディブの宿泊施設を予約する場合、旅行会社のウェブサイトやリゾートホテルのウェブサイトを紹介したインターネット上のオンラインソースからの予約が引き続き人気がある。
- ✓ トリップアドバイザーは旅行の計画に使用される最も一般的な Web サイトだが、

訪日外国人旅行者による新婚旅行の特徴と発展可能性に関する考察

インスタグラム、オンライン旅行ブログ、visitmaldives.comも旅行の計画によく使用されている。

- ✓ Booking.comは旅行を予約するための最も人気あるウェブサイト。他にはMakemytrip、HolidayCheck、Agodaなどがある。
- ✓ ほとんどの訪問者はモルディブへの旅行を3～5か月前、または1～2か月前に予約した。
- ✓ Instagramは旅行者が旅行体験を共有するために使用する最も人気のあるソーシャルメディアサイト。

【宿泊・滞在】

- ✓ 回答者のほとんどはリゾート（ホテル）のみに滞在し、これにゲストハウスが続く。
- ✓ スピードボートと水上飛行機はモルディブ国内で最も一般的な交通手段。
- ✓ 宿泊施設におけるスタッフの親切さ、安全性、サービスの質、快適さ、清潔さは旅行者から高い評価を受けている。
- ✓ オールインクルーシブ（宿泊説に滞在中にすべての食事も宿泊料金に含まれる）食事プランは、旅行者に最も人気がある。
- ✓ 料理の質、モルディブ料理、選択肢の多様な食事は、ほとんどの訪問者から素晴らしいと評価されている。
- ✓ 回答者の11%はアリ環礁でジンベイザメウォッチングに行き、5%はハニファル湾を訪問、3%はサーフスポットを訪問、1%は文化遺産や文化遺産を訪問した。
- ✓ 旅行者は、国境が開いており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の安全対策が講じられていること、飛行機の乗り継ぎが容易であること、そして到着時の隔離がなかったことなどから、この期間中にモルディブへの旅行を選択した。モルディブは子供や家族と一緒に旅行するのに安全な目的地であると認識されている。
- ✓ 訪問者はモルディブについて「アメージング（素晴らしい）」、「パラダイス（楽園）」、「ワンダフル（素晴らしい）」、「ビューティフル（美しい）」、「ピースフル（平和）」と表現することが最も多い。
- ✓ 旅行者は主に「ビーチ」、「海」、「天気」、「人々」を気に入っている。その他、モルディブでの「ダイビング」や「シュノーケリング」も気に入っている。

【満足度】

- ✓ 旅行者の95%がモルディブでの休暇の満足度を「最高」または「非常に良い」と

評価している。

- ✓ 旅行者の 82% はモルディブを再訪する可能性が非常に高い、または再訪する可能性が高いと回答している。
- ✓ 大多数の旅行者がモルディブを他の人に勧めると考えている。96% はモルディブを勧める可能性が非常に高い、または勧める可能性が高いと述べている。

以上の調査結果をもとにモルディブへの旅行者の動向から、ハネムーン旅行への特徴をまとめると、次の要素を指摘することができる。まず「美しい海」へのニーズが高いという点である。これは前項での世界の人気ハネムーン旅行先の動向と同じである。温暖な気候のもと、美しい海での滞在がハネムーン旅行では大きな要素であることがわかる。また「宿泊施設の質」もハネムーン旅行では重要な要素になっている。モルディブは 1 島 1 リゾートという規定のもと、安全性と快適性の高い施設（ホテル）に滞在しつつ、親切でホスピタリティーあふれるスタッフのもと、おいしい食事ができるホテルが多いことが多くのハネムーンナーが訪れる要因の 1 つとなっている。